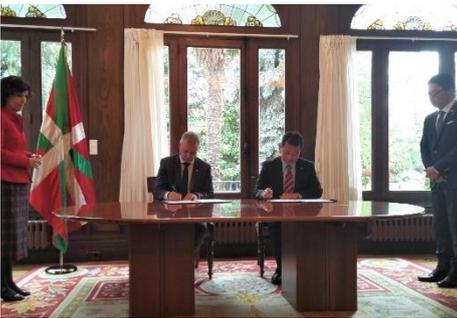


知事のスペイン訪問の概要について

日程	訪問先	相手方	概要	写真
5月13日、14日			移動日	
5月15日 (月)	バスク州貿易投資事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●バスク自治州政府 経済開発・サステナビリティ・環境省 副大臣 ミケル・アムンダレイン・レイバー ●バスク自治州事業開発庁 国際化担当ディレクター マリア・アイノア・オングル サバル・イサギーレ 	<ul style="list-style-type: none"> ●産業連携の覚書(MOU)を基に更なる連携に関する意見交換 	
	ゲストンプ社ビルバオ研究開発センター	<ul style="list-style-type: none"> ●ゲストンプ社 ビルバオ研究開発センター 開発部門役員 イグナシオ・マーティン ●渉外担当部長 エスタバン・ガルシア・デ・モティロア ●ビルバオ車体部品 R&Dセンター長 ミゲル・アンヘル・フェランドス ●商品開発役員 ランデル・アバスカル ●三井物産からゲストンプへの出向管理職 三浦 憲昭 	<ul style="list-style-type: none"> ●松阪市のゲストンプ・ホットスタンピング・ジャパンの雇用と操業、令和4年5月の松阪工場の拡張への御礼 ●松阪工場の近くで研究開発拠点の新設について トップセールス 	 
5月16日 (火)	バスク自治州政府	<ul style="list-style-type: none"> ●バスク自治州 首相 イニゴ・ウルクリュ首相 ●バスク自治州 首相府対外行動庁 長官 マリア・アンヘレス・エロルサ・スビリア ●バスク自治州 首相府対外行動庁 アドバイザー コンセプション・キンタナ・アギーレ 	<ul style="list-style-type: none"> ●覚書(MOU)を締結した産業、食、巡礼道の更なる連携のため、関係強化について意見交換 ●今後も引き続き協力・連携を促進するとともに、両県州の発展のために努力していくことを確認する『確認書』に署名。 	 

日程	訪問先	相手先	概要	写真
5月 16日 (火)	料理人交流 事業 視察	<ul style="list-style-type: none"> ●サン・セバスティアン市の料理人 アルサック ラボラトリオ責任者(トップ3シェフの一人) ミケル・ソラズ・エチャベシェフ ランダー・コルナゴ ●県内料理人及び料理人をめざす若者 ●通訳兼シェフ兼コーディネーター 羽原 聡子 	<ul style="list-style-type: none"> ●サン・セバスティアン市と県内料理人等の交流の視察 ●双方の料理人が新たに作り上げたコラボレーション料理を試食 ●今後の「ガストロノミーツーリズム」について協力を依頼 	 
5月 17日 (水)	サンティアゴ巡礼路(北の道)	<ul style="list-style-type: none"> ●バスク自治州 文化・言語政策省 大臣 ビンゲン・ズピリア・ゴロスティディ ●バスク自治州 文化・言語政策省 文化庁 文化遺産局 局長 ミケル・アイズプル・ムルア ●デバ地区カミーノ・デ・サンティアゴ友の会 メンバー 他 	<ul style="list-style-type: none"> ●サンティアゴ巡礼路(北の道)の視察 ●巡礼路の保全と振興について民間を含め関係者と意見交換 	 
5月18日、19日	移動日			

- 5月14日(日)に、ビルバオ美術館を訪問するとともに、ビルバオ市内でバスク出身の世界的彫刻家のエドゥアルド・チリーダの彫刻等を鑑賞。
- 5月15日(月)に、堀之内ジェトロ・マドリード事務所長から、現地事情のブリーフを受けた。
- 5月17日(水)に、芸術を核としたまちづくりによって、重工業が衰退し不況に陥っていた炭鉱、造船の街・ビルバオ市を再生させた中核の美術館であるビルバオ・グッゲンハイム美術館を視察。外部連携コーディネーターのマリア・ビダウレータ氏よりビルバオ効果や代表的な作品などの説明を受け、芳名録へ記名。